

平成 30 年第 4 回（12 月）定例会一般質問

12 月 10 日（月）

3 番 吉藤 里美 議員

質問事項	質問の趣旨
1 新たな臨時非常勤等（会計年度任用）職員制度について	平成 29 年 5 月の地方公務員法及び地方自治法の改正により、従来の臨時非常勤等職員に関する制度・運用が大きく変わることとなっています。 臨時非常勤等職員（会計年度任用職員）は市民サービスの提供に欠かすことのできない存在であると思います。 改正法が施行される平成 32 年度にむけた条例、規則等の制定、改定作業をはじめ運用に関する準備が多々必要であると考えます。 そこで、3 項目について伺います。 ① 法の趣旨について。 ② 臨時非常勤等職員の現状と新制度により任用等がどう変わるのか。 ③ 今後のスケジュールについて。
2 平成 32 年度に予定されている「公民館の指定管理」について	現在、耐震性がない等により建替え・改修計画が進められている公民館については、前市長在任中に指定管理の方針が示されました。 昨年 4 月に、川野市長が就任されてから現在までの 1 年 7 か月の間、指定管理については、「建替えにより、延期する」旨の説明はありましたが、それ以外はなんら説明がありません。 ① 指定管理の方針が示されて以降、どのような取り組みをされたのかお伺いします。 ② 指定管理者については、どのような団体を想定しているのかお聞かせください。

3 不登校対策について	市内の中学校の不登校の状況(出現率)は、平成 27 年度は 2.53%であったのが、28 年度は 3.29%、29 年度は 3.13%、本年 10 月初めには 4.26%と増加の一途をたどっており、平成 29 年度の国の出現率 4.3%に近づいています。また、市内の中学校で、不登校の率が一番高い学校は 7.6%です。この現状を、教育委員会として、どのように受け止めていますか。 平成 28 年に、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が制定され、「不登校児童生徒等に対する教育機会の確保等」について明記されています。 法律の制定以降、不登校児童・生徒に対する支援をどのように行っているのか伺います。
-------------	---

13 番 衛藤 正宏 議員

質問事項	質問の趣旨
1 安心・安全な市道整備について	豊後大野市には、市道路線数が本年 4 月 1 日現在で 1,759 路線あるが、舗装の老朽化や災害による傷みなどの要因により、市道の安全性が心配される。安心・安全な市道整備は市の責務であり、市道の整備について伺う。 ① 市道整備の長期的な計画について伺う。 ② 市道木浦内線の改良工事について。
2 新図書館について	新図書館及び資料館の基本設計ができ、図書館の姿が見えてきた。すばらしい建物をつくることはもちろんのこと、市民にとって「新しい図書館ができてよかった」と言える図書館をつくっていくことが大切である。そこで、新図書館が子どもをはじめ高齢者まで、多くの方に利用されるための取り組みについて伺う。 ① 図書館の現状について。 ② 新図書館の全体像について。 ③ 多くの方に利用される取り組みについて。

4 番 穴見 眞児 議員

質問事項	質問の趣旨
1 定住促進について	① 移住・定住施策として旧大野高校跡地の分譲が行われていますが、現状と今後の見通しについて伺います。 ② 定住促進については、学校教育も重要な要素を含んでいると思われます。農業の振興を強く掲げる本市にとって、三重総合高校における農業に関する教育の更なる充実、農業土木技術者の育成は将来に向け定住促進に寄与するものと考えますが見解を伺います。
2 市営住宅の管理等について	① 市の人口減少が予想される中、戸建て住宅の空き家も見受けられるが市営住宅の管理はどのように行っていくのか伺います。 ② 南海トラフによる震災が心配されていますが、市営住宅の耐震状況について伺います。 ③ 市営住宅や団地内にある遊具については、子どもたちの遊び場であり、憩いの場であると思います。今後、遊具の充実を図る考えはあるのか伺います。

9 番 神志那 文寛 議員

質問事項	質問の趣旨
1 ごみ収集を公平に	可燃ごみの収集が、週 2 回の地区と週 1 回の地区があり、不公平な状態となっています。特に年末年始は、休日が入ることと曜日の関係によって、週 1 回の地区は年末最後の収集日から年明け最初の収集日が 14 日後となることがほとんどです。 収集が週 1 回しかないからといって、税負担が軽減されているのでしょうか。住民サービスは公平に行うことが必要ではないでしょうか。 全ての地区において週 2 回の収集を行う、あるいは年末年始は変則収集するなど、検討することを求めます。
2 高すぎる国保税の引き下げを	① 9 億円もの余力を使い、来年度の国保税の引き下げを。 2017 年度決算では、実質収支と基金の合計で、9 億 1,306 万円もの余力があります。給与収入 400 万円 4 人世帯で、年収の 14%、57 万 1,400 円にものぼる高すぎる国保税を、ただちに引き下げるべきではありませんか。来年度に向けての検討状況をお尋ねします。 ② 政府に対して、1 兆円の公費投入と制度改善を求めるべきでは。 全国知事会は 2014 年に公費を 1 兆円投入して協会けんぽ並みの負担率にすることを、政府に求めています。 また、この 1 兆円のという規模は、全国で「均等割」「平等割」として徴収されている保険税額に相当するとのことです。 政府に対して、全国知事会と同様に「国保への 1 兆円の公費投入を行うこと」と、加えて逆進的な負担である「均等割」「平等割」を廃止して協会けんぽ並み負担率にすることを、求めるべきではありませんか。

3 新図書館・資料館について	11月5日の議会全員協議会で説明された新図書館・資料館の基本設計（案）では、コンセプトの一つに「図書館・資料館を拠点として、各公民館とのネットワークを充実させ、周辺地域の方にとっても気軽に身近な施設を目指します」と掲げられ、さらに、建物の形状はよりシンプルな形状となり、延べ床面積も縮小、概算事業費も外構工事費を含めての19億3,360万円へと縮小されました。 しかし他に、施工管理費、書籍やAV機器購入費、図書館情報システム費が必要とのことでありますので、まだ建設費を縮小できないのか、以下の点についてお尋ねします。 ① ブラウジングエリアは、なぜ必要なのでしょう。 ② 公民館図書室の蔵書を増やせば、市図書館の規模を抑えることができるのでは。
-----------------------	---

1 番 後藤 雅克 議員

質問事項	質問の趣旨
1 豊後大野市宅地分譲について	① 販売状況について。 ② 今後の販売見通しについて。
2 公園整備について	大型遊具を備えた公園整備について。
3 健康づくりについて	「あけあじ健康21」における身体活動量の増加について

12月11日 (火)

5番 田嶋 栄一 議員

質問事項	質問の趣旨
1 教育振興について	① 第3次豊後大野市総合教育計画の推進状況について。 ② 教育委員会の活動の内部評価について。 ③ 学力向上対策について。 ④ いじめ・不登校問題対策について。 ⑤ 部活動のあり方について。 ⑥ 三重総合高校の支援について。

11番 小野 順一 議員

質問事項	質問の趣旨
1 携帯電話不感地域の解消に向けての取り組みは	① 携帯電話不感地域の状況について。 ② 防災行政情報伝達手段の多重化計画は携帯電話と関係するの か。 ③ 携帯電話事業者の共同による不感地域の解消に向けての取 組みは考えられないか。
2 地籍調査について	① 進捗状況について。 ② 完了予定について。

17番 衛藤 竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨
1 これからの豊後大野市の文化振興・観光施策について	大分県内で開催された第33回国民文化祭・おおいた2018及び第18回全国障がい者芸術・文化祭おおいた大会が終了しました。「おおいた大茶会」のテーマの下、10月6日から11月25日までの間、いろいろな催しや祭典が行われました。 本市でも多くの市民がこの大会に携わり、すばらしいパフォーマンスが繰り広げられました。達成感のある大イベントだったと思います。 文化の祭典ではありますが、本市に訪れる方々をおもてなしの心で歓迎し、再来してもらえるような観光施策に繋がる大イベントでした。 本市と竹田市の地域テーマは「耕す里」。市内では、朝倉文夫記念館での木製の「巨大寝ころび招き猫」、「耕す里の大御幸祭」、「実りの里の芸術祭」の三つの事業でした。 さて、この事業終了後の検証はどのようにするのでしょうか。しっかりした検証の下、これからの本市の芸術文化の振興策、また観光施策推進にどのように繋げていくのか考えを伺います。 ① 国民文化祭の評価、検証は。 ② これからの観光施策に期待することは。

2 市民病院の所有財産の整備について	豊後大野市民病院も現在の場所に移転して、15 年を経過していると思います。市民病院を利用されている患者さんに対する環境整備に取り組むことも外来や入院患者の増減に影響を与えると考えます。 市民病院の職員全員での環境整備の意識の共有、また地域住民との共同の取り組みがされていることを評価したいし、更に期待するものです。 さて、旧病院跡地や旧医師住宅周辺の環境整備についてはどうでしょうか。これまでもお聞きしていますが、将来的な展望が示されていないのではないのでしょうか。閑静な地域ですが、高齢化の影響もあり、更に寂しさを感じています。考えを伺います。 ① 市民病院の環境整備は。 ② 旧病院周辺の対策は。
3 市道の管理体制について	これまでも市道管理に対して多くの議員が質問してきましたが、是正や対応が十分ではありません。 特に今年の市道の道路環境は例年に比べ悪化していると感じています。 財政の厳しい本市ではありますが、住民の安全性、市道を利用する市内外のドライバーが安心して運転できる道路環境を目指すべきであります。 市民の道路愛護作業、シルバー人材センターでの作業委託等、これまでの取り組みではもう無理ではないのでしょうか。 以前から提案していた道路管理委託の強化策を検討、導入するべきであります。 将来の検討事項ではない、喫緊の重要課題として本格的な検討を推進してほしいが見解を伺います。

15番 宮成 昭義 議員

質問事項	質問の趣旨
1 水田の畑地化と農業政策について	50 年近く続いた米生産調整（減反）が 2017 年産米で終了し、大分県は高収益が期待される園芸へと誘導する狙いから、本年度水田農業から畑地園芸への転換を促進するとの事であるが、本市の耕地面積は 6,280 ヘクタールの内 4,220 ヘクタールが水田であります。 我が豊後大野市にあつては、今日まで米作を中心に水田を維持し、耕作をしてきた中で畑地園芸の転換は厳しい状況にあると考えるが、水田の畑地化を含め、今後の本市の農業政策をどのように進展させていくのか伺います。
2 千歳小・中学校における校舎改築及び中学校体育館の床改修について	① 千歳小学校校舎は昭和 52 年築で 41 年、千歳中学校校舎は昭和 49 年築で 44 年が経過している訳であります。 小学校では当時の児童と比べ、体格的にも大きくなっているため、トイレ等は狭く、中学校にあつては雨漏りもひどく、改築の時機に来ていると考えますが、改築の考えについて伺います。 ② 千歳中学校の体育館にあつては、平成 4 年築で 26 年が経過している訳であります。部活や社会体育等にも開放され、使用されている訳であります。 使用頻度も激しく、部活ではバレーボールや剣道、クラブでは少年剣道、テコンドー、一般ではバレーボール等、そして、それらの部やクラブの大会があり、ほとんど毎日のように活用され、床の傷みも激しく、床改修が必要であると考えます。 改修の考えについて伺います。

3 置き勉対応策について	今、小学生のランドセルの重さが問題となっています。 平成 31 年 4 月豊後大野市 11 校の小学校に就学する児童は 200 人余りとの事です。 低学年におけるランドセルの重さは平均 3.6 キログラムから 4.0 キログラムが望ましいと言われていますが、平均 8 キログラムから 9 キログラムのランドセルを背負って登校しているとの事です。 成長期にある児童の体格や体力、気力、安全面等を考えるとき、置き勉対応策を講じるべきではないかと考えます。 置き勉のありようをどのように捉えているのか伺います。
---------------------	---

2 番 嶺 英治 議員

質問事項	質問の趣旨
1 有害鳥獣等被害対策事業の強化について	猟期を迎え、平成 30 年度の鳥獣捕獲が解禁された。本市の鳥獣害の対策状況や被害状況、駆除状況、基幹産業である農業経営を守る有害鳥獣等被害対策事業関係団体の支援について取り組み状況を伺う。 ① 近年の鳥獣被害状況について。 ② 有害鳥獣等被害防止対策について。 (災害等による復旧事業含む) ③ 有害鳥獣等被害対策事業関係団体の補助について。
2 豊後大野市観光イベント事業（チューリップフェスタ）の拡大について	本市の観光イベント事業は、実行委員会へ補助することで成り立っている。総合計画では平成 37 年度に 27 万人を集客することを目指しているが、その状況について伺う。 ① 補助の状況やその成果について。 ② 集客数 27 万人を目指す取り組みについて。 ③ ②を踏まえ、チューリップフェスタの事業規模拡大について。